

はじめに

PADA (**P**ersonality **A**ssessment for **D**omesticated **A**nimals) は、家畜動物の性格評価の略です。さまざまな分野の専門家チームによって開発された科学に基づく性格スクリーニングテストです。PADAは動物介在介入 (AAI) の現場で働く動物を対象としていますが、他の分野で働く動物の評価にも

使用できます。ブリーディングにおいては、繁殖を計画している犬の性格評価に有用です。また一般の方も、客観的かつ専門的な評価からご愛犬の性格について詳しく知ることができます。

このガイドブックでは犬のPADAテストについてご案内いたします。

記述的なテスト

PADAは、犬が自らとる自然な反応を項目ごとにテストします。ハンドラー（通常は飼い主）は、殆どの項目に同席しますが、テスト中犬の行動に影響を与えることは求められません。つまり、犬が示す反応や行動は、全て純粋に犬自身の選択によります。また犬にとって新しい会場・環境、犬が初めて会う人々によって実施することでテストの客観性が保たれます。

各テスト項目において、評価内容に適切な備品や環境が準備されています。評価内容の例として、回復にかかる時間、鼻を使って探索するか、好奇心を持っているか、物を守る行動を示すか等があります。つまり、PADAは犬の行った行動が正しいか誤っているかと評価するものではなく、犬の性格のさまざまな側面を審査し、結果は各テスト項目において犬がとった行動を説明するものです。

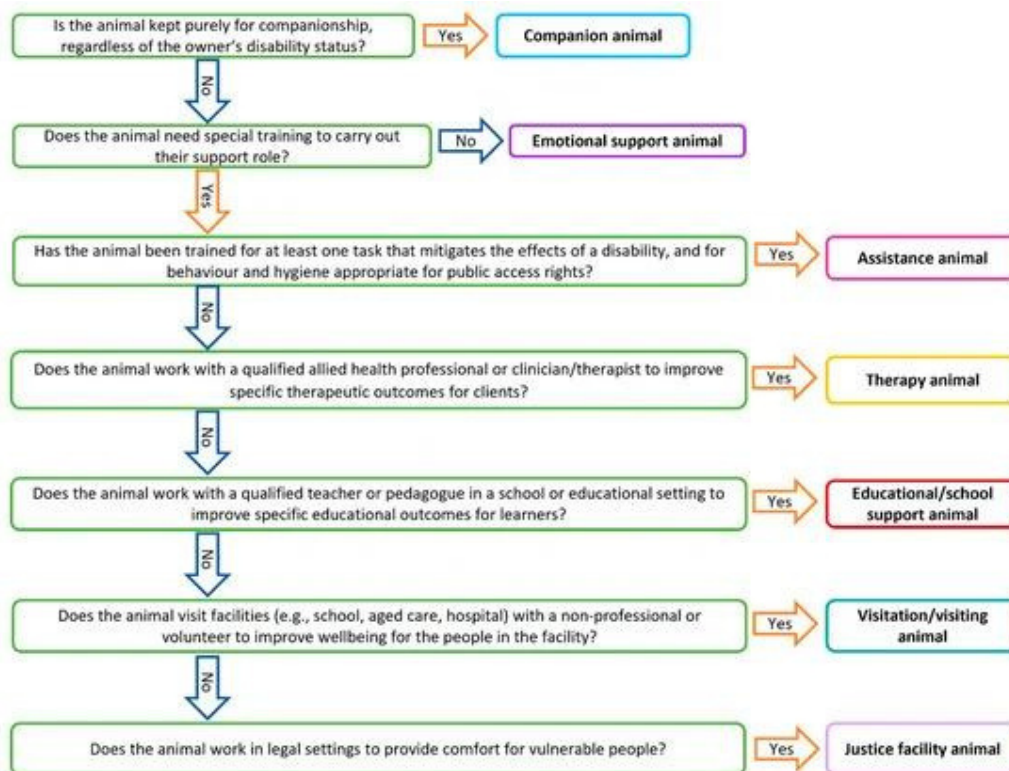
AAI

PADAテストの焦点は、犬が AAI の現場に介入するのに適しているかどうかを評価することです。そのため、AAI で働く犬として必要となる根本的な要素が PADA テストで確認されます。AAIのフィールドは広く、幾つかの分野があります。各分野で求められる犬の適性条件は異なります。

PADAテストは結果から、その犬がどんな活動で輝く性格か、AAIのどの分野に適しているかという判断をするのに役立ちます。

PADAは、犬が初めて会う人と一緒に過ごすことを楽しむことができる性格かということも客観的に評価します。これはAAIの分野に共通して必要となる重要な性格の要素です。完全に選択の自由がある状況において、犬がどのような選択をするかを実際に見ると驚かれるかもしれませんね。

犬がテストの継続・参加を望んでいないと判断した場合、どの時点においても実施を強制されることはありません。PADAチームは、犬がリラックスした状態で会場を退出できるように実施します。



flowchart showing the relationships between the roles in AAI. Source: *Defining Terms Used for Animals Working in Support Roles for People with Support Needs* at dpi.com

プロフェッショナルチーム

犬をテスト会場へ連れて来られる方をハンドラーと呼びます。通常は犬のオーナーですが、オーナーに限りません。

PADAテストの実施には、PADAテクニシャン、PADAリーダー、PADA評価者、およびカメラマンの4つの役割を果たす人が必要です。

実際に犬のテストを行うのはPADAテクニシャンです。PADAリーダーは、テストを通してテクニシャンとハンドラーの指示説明・案内役を務めます。PADA評価者は常に犬と一緒に移動し、PADAアプリを使用してテストを記録します(そのため、評価者は携帯電話やタブレットなどの電子デバイスを常に使用しています)。カメラマンは、テスト中の犬の様子を撮影します。

PADAチームは、856時間以上の実技経験とICofA認定コースを受講している専門的な知識と技術を持つチームです。評価を通して認定されたメンバーだけがPADAテストを実施することができます。テスト中の役割が分担されていること、客観的にメンバーが共同して項目ごとに決断をしていくことから、的確に犬の行動を観察することが可能となります。必要に応じて、録画もテストどを見直す上で役立ちます。

世界中のどの実施機関においても
PADAテストは適切に実施される準備
が整っています。各国のチームはそれ
ぞれの経験を共有し、共に改善を重ね
ていく国際協力体制が確立されていま
す。またPADAテストの結果はアプリで
国際チーム間共有されます。

INTERNATIONAL CERTIFIED TEAMS

PADA認定者は、テストが使用されて
いる国であればどこでもテストを実施
することが可能です。この犬の学問に
関する知識(犬の研究)を国際レベルで
オープンに共有することで、PADA
チームは幅広く学び、専門家として成
長することができます。現在、PADA
チームは以下の国々にて活動していま
す。

Belgium

- Tine Arrets

Netherlands

- Mandy Van Laar

Czech Republic

- Zuzana Prokopová

Norway

-Christine Olsen

Hong Kong

- Eddie Sir (Lee)

Romania

- Alina Rusu

Hungary

-Andrea Temesi
-Judit Abdai

Slovakia

- Martina Contofalská Michalkova

Iceland

- Gunnhildur Jacobsdottir

Sweden

- Sara Karlberg

Japan

- Fumi Higaki

テストを受ける前に

- 成犬になってからテストは受けられます。(成犬と考えられる年齢は犬種によって異なります)。小型犬の場合は2歳くらい、中型および大型犬の場合は3歳くらいとなります。
- テストを受ける30日以内に発行された獣医師による健康診断書が必要です。
- 首輪の装着に慣れていること
- 1つのテスト項目を除き、全ての項目にハンドラーは立ち合います。
- PADA評価者のみが犬についての情報を保有します。先入観による影響がないよう他チームメンバーは犬について情報を伝えられることなく試験を実施します。
- 試験は有償です。

申し込み方法

お住まいの国のPADAテスト実施団体にご連絡ください。その団体よりテスト実施に関する案内と、申し込み書とアンケートがメールにて届きます。

申し込み書、アンケートご記入の上、団体へご返送下さい。お申し込み頂いた犬につきまして、テスト参加の条件が整っているか確認します。テストに参加可能と判断された場合、テストの日付、時間、場所、その他の関連情報をご案内いたします。まだ参加条件を満たしていない場合はどのように進めればよいかアドバイスさせていただきます。

- MCPQ-R アンケート

MCPQ-RとはMonash Canine Personality Questionnaire-Revisedの略で、犬の性格を把握することに焦点を当てたアンケートです。このアンケートからPADA評価者はテストに参加する犬がどのようなタイプか把握することができます。また、アンケートの回答に基づいて、実際にその犬がテストに参加すべきかどうかを評価者が決定する最初のスクリーニングとなります。

- 犬の情報アンケート

このアンケートでは、犬の健康状態、食事、犬種、また既にAAEの現場で活動しているかなどの犬に関する情報をご記入下さい。

申し込みからテスト実施までの間、ハンドラーさんはアンケート回答などの記入手続きがあります。これはすべて、犬が実際に PADA テストに適しているか、または特定の理由で延期すべきか、またテストを受けるべきではないのでは、という判断を適切にする為です。

PADA テストの結果が示す内容が、オーナーがご自身の犬について思い描いている性格とは異なる場合があることがあります。犬が実際のテストで驚くような行動をとったとしても、その犬について深く知ることによって、互いにとってより満足のいくライフスタイルを築くことができます。テストを通して、選択の自由があるとき、どう行動できたら幸せなのか犬が示してくれるということです。

テスト当日

テスト当日、PADAリーダーが会場をご案内し、チームメンバーを紹介します。始めに、会場屋外でリーダーがハンドラーを迎え、会場内に案内します。チーム紹介の後、もしオーナーが食べ物やおもちゃを持っていたらテスト終了まで預かり、テストに関する説明をします。テストは到着時に開始します。最小限の説明、会話で開始しますがその会話時間もテストの一部であることにご注意ください。テストにかかる時間は約45分から1時間です。

テストは次の項目で構成されています:

- *Sub-test 1*: 攻撃性、他犬とのすれ違い
- *Sub-test 2*: 社会性、新しく出会う人のご挨拶
- *Sub-test 3*: 新しい環境, 複数の人がいる部屋に入る
- *Sub-test 4*: 音への反応、叫び声
- *Sub-test 5*: 守る行動、ドアノック
- *Sub-test 6*: 社会性、呼ばれた時の人への反応
- *Sub-test 7*: 未知の物への反応
- *Sub-test 8*: 金属音への反応
- *Sub-test 9*: 現場を想定した環境への反応
- *Sub-test 10*: 分離不安傾向、オーナーから離れて移動
- *Sub-test 11*: 作業記憶、合図でお座り

- *Sub-test 12*: 作業記憶、合図で伏せる
- *Sub-test 13*: 作業記憶、合図でリリース
- *Sub-test 14*: 複数の人に囲まれる
- *Sub-test 15*: 守る行動、食べ物
- *Sub-test 16*: 人と遊ぶ

必要性が認められる場合は、6か月以降に再度PADAテストを受けることができます。

テスト終了後、PADAチームがテスト結果について審議する間、ハンドラーは部屋の外で待機するよう求められる場合があります。その後、部屋に戻りテスト結果に対するコメントやアドバイスを尋ねる機会があります。

正式な結果は、テスト後1週間以内にメールにて送信されます。

連絡先

詳細については、お住まいの国の PADA チーム（4ページ）、または ICofA に直接お問い合わせください。



www.icofa-community.com/pada



post@icofa-community.com



PADA- Personality assessment for domesticated animals

